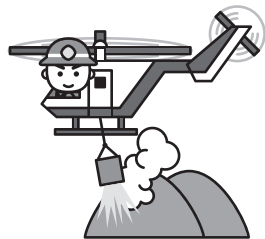




山火事に注意しましょう

例年、冬から春にかけて、山では枯葉や枯草が多くなることに加え、空気の乾燥や季節風などの気象条件から、山火事の約7割が、2月から5月にかけて集中して発生しています。

原因は、たき火、火入れ、たばこの火の不始末など、そのほとんどが人間の不注意などによるものです。



そこで、次のことに気を付けてください。

- ・ 枯草などがある火災が起こりやすい場所では絶対にたき火はしない
- ・ 風が強いとき、空気が乾燥しているときはたき火や火入れはしない
- ・ たばこの火は必ず消し、絶対に投げ捨てない

問 佐賀広域消防局 予防課
☎33・6765



地域女性リーダー養成セミナー (公開講座)

私らしい、私サイズの一步を考えてみませんか。

◆日時 2月17日(土) 13時30分～15時45分

◆会場 アバンセ 4階 第3研修室

◆内容

- ・ 講演「あなたの一步が、地域・社会を変える」
(株)新閃力代表取締役社長 尾崎えり子さん
- ・ トークセッション「私が一步を踏み出したとき」
スピーカー 内田信子さん (佐賀錦研究者)
大木八重さん (株式会社ヨココ
商品開発部営業企画課課長)
小林由枝さん
(よりみちステーション代表)

コメンテーター 尾崎えり子さん

コーディネーター 上野景三さん

(アバンセ事業統括)

◆定員 先着80人(事前申込制)

※申込方法など、詳細は問い合わせください。

問 申 佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ)
☎26・0011 FAX 25・5591

青年海外協力隊員
ふるしゅうなつこ
古庄奈津子さん



奈津子の

ウズベキスタン通信



小城市のみなさん、アッサロムアライクン！(ウズベク語でこんにちは)

今月はセンターで初めて行った「環境教育」のお話です。ウズでは一步外に出ると、お菓子の袋やたばこの吸殻、ペットボトル、ビニール袋が側溝に溜まっていたり、川の流れをせき止めるほどごみが落ちていたりします。大人が車の運転中にペットボトルを捨てたり、建物の中からたばこを捨てたりする光景もしばしば。また、ウズでは環境教育を行っている学校がとても少なく、私が住んでいるブハラの学校でもほとんどありません。そのようなウズの現状を少しでも変えることができればと、11月末に「ブハラのごみについて考えよう」という授業を開催。当日は10人の子どもたちが参加し、自分たちの町とごみの問題についてみんなで考えました。



▲熱心に授業に取り組む子どもたち

ペットボトルの再利用や電気や水の節約、世界遺産があるブハラをみんなで守りたいなど、さまざまな意見が出ました。最後は不要になった紙でペン立てを作り、生徒の1人がこのテープ(くっつけるために使用した)も少しずつ使わなきゃ！と意識の変化を見せてくれて、とても嬉しくなりました。